

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	専門職連携		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2学年		学期及び曜時限	後期	教室名	新館
担 当 教 員	鬼頭 浩美 各学科教員	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
保健・医療・福祉・の各専門職が関与する領域、組織、活動内容を知る。各専門職の違いを理解し、互いの専門性を認め合いながら事例について協働し、支援の方法を考え連携協働の基礎を学ぶ。相互理解のため各専門職の役割理解と自職の理解を深める。また急性期・リハビリ期・介護予防における専門職の役割と連携について他学科の学生と共に事例演習を通して学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
協働学習への参加度、レポート内容						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
《授業外における学習方法》						
《履修に当たっての留意点》						
積極的に参加し、互いの専門性を尊重しながら意見交換できるようにしましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	専門職連携教育(IPE)の意義と必要性が理解できる	iPad プロジェクター 資料		
		各コマにおける授業予定	専門職連携教育(IPE)とは IPEの意義を必要性 IPEに必要な要素			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	保健・福祉・医療に関わる専門職について述べる事ができる	iPad プロジェクター 資料		
		各コマにおける授業予定	保健・福祉・医療に関わる専門職について、業種、業務内容と範囲、資格と資格修得に必要な要件、法的根拠について調べる			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・視能訓練士について理解できる	iPad プロジェクター 資料	各専門職の専門性を調べておく	
		各コマにおける授業予定	各専門職の教員から講義を通じて業務内容と範囲、資格と資格修得に必要な要件、法的根拠、教育過程等について学ぶ			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・視能訓練士学科の学生と関係づくりができる(チームビルディング)	iPad プロジェクター 資料		
		各コマにおける授業予定	各学科の学生とチームを組みアイスブレイクによる関係づくりを行う 自分の目指す専門職について紹介し各職業や職域を理解する			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	Teamで連携し事例課題に取り組むことができる①	iPad プロジェクター 資料		
		各コマにおける授業予定	各専門職の視点でICFの考えに基づき事例の生活課題を抽出し目標を共有する			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標 Teamで連携し事例課題に取り組むことができる②	iPad プロジェクター 資料	
	各コマにおける授業予定	目標達成のための生活課題へのアプローチについて各専門職の視点から具体策を考える		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 Teamで連携し事例課題に取り組むことができる③	iPad プロジェクター 資料	
	各コマにおける授業予定	各チームでまとめた内容を発表し共有する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 放射線技師、臨床工学士について理解できる	iPad プロジェクター 資料	
	各コマにおける授業予定	各専門職の教員から講義を通じて業務内容と範囲、資格と資格修得に必要な要件、法的根拠、教育過程等について学ぶ		
第9回	講義実習形式	授業を通じての到達目標 放射線技師・臨床工学士学科の学生と関係づくりができる(チームビルディング)	iPad プロジェクター 資料	
	各コマにおける授業予定	各学科の学生とチームを組みアイスブレイクによる関係づくりを行う 自分の目指す専門職について紹介し各職業や職域を理解する		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 Teamで連携し事例課題に取り組むことができる①	iPad プロジェクター 資料	状況設定についてわからない箇所を事前に調べておく
	各コマにおける授業予定	事例について各専門職の視点で検査・治療が円滑に行えるための課題を抽出し目標を共有する		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 Teamで連携し事例課題に取り組むことができる②	iPad プロジェクター 資料	
	各コマにおける授業予定	検査・治療が円滑に行えるためのアプローチについて各専門職の視点から具体策を考える		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 Teamで連携し事例課題に取り組むことができる③	iPad プロジェクター 資料	
	各コマにおける授業予定	各チームでまとめた内容を発表し共有する		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 柔道整復師・鍼灸師学科の学生と関係づくりができる(チームビルディング)	iPad プロジェクター 資料	
	各コマにおける授業予定	各学科の学生とチームを組みアイスブレイクによる関係づくりを行う 自分の目指す専門職について紹介し各職業や職域を理解する		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 Teamで連携し事例課題に取り組むことができる	iPad プロジェクター 資料	状況設定についてわからない箇所を事前に調べておく
	各コマにおける授業予定	事例を用いて、自身の職域が担う業務のディスカッションを行い、KJ法を用いて介護予防を含む利用者のためにしなければいけないことと、できることを考える		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 まとめ	iPad プロジェクター 資料	
	各コマにおける授業予定	保健・福祉・医療の多職種専門性と専門職連携のために必要なことについてまとめ発表する		